

放射性廃棄物処理・処分 スケジュール

分野名	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定		8月				9月				10月				11月		12月	備考
			27	3	10	17	24	1	8	15	下	上	中	下	前	後				
固体廃棄物の保管管理計画 処理・処分計画	1. 発生量低減対策の推進	持込抑制策の検討 (実績) ・足場材貸出による再利用 (予定) ・足場材貸出による再利用	検討・設計																	
			現場作業	足場材貸出による再利用															・2017年3月27日：足場材貸出運用開始	
	固体廃棄物貯蔵庫の設置	(実績) ・固体廃棄物貯蔵庫第9棟にかかる建屋工事 躯体工事 内外装工事 (予定) ・固体廃棄物貯蔵庫第9棟にかかる建屋工事 内外装工事	検討・設計																・2015年7月17日：実施計画変更認可申請認可	
			現場作業	内外装工事														最新工程反映	・2018年1月：竣工予定	
	覆土式一時保管施設 3,4槽の設置	(実績) (予定) ・設置工事(3槽) ・設置工事(4槽)	検討・設計																・2014年8月12日：安全協定に基づく事前了解	
			現場作業																・2015年11月13日：使用前検査(3槽) ・ガレキの発生量が保管施設 第4槽の保管容量に満たないため施行一時中断。再開時期は2018年3月予定	
	一時保管エリアの追設/拡張	(実績) ・伐採木一時保管槽への受入(枝葉) ・伐採木一時保管槽蓋締め施工 (予定) ・伐採木一時保管槽への受入(枝葉)	検討・設計																	
現場作業																		・2017年6月14日：使用前検査(エリアG12槽分) ・2017年8月9日：使用前検査(エリアG22槽分)		
2. 保管適正化の推進	雑固体廃棄物焼却設備	(実績) ・処理運転 (A・B系) (予定) ・処理運転 (A・B系) ・停止 (A・B系)	検討・設計																	
			現場作業	[A系] 処理運転 [B系] 処理運転	最新工程反映 停止(定期点検) 停止(定期点検)														処理運転	・【A系】 2017年10月4日~2017年10月23日 定期点検 ・【B系】 2017年10月6日~2017年10月29日 定期点検
増設雑固体廃棄物焼却設備	(実績) ・機電設計 ・準備工事 仮設事務所設置、安全通路の整備等 掘削工事 地盤改良工事 (予定) ・機電設計 ・準備工事 掘削工事 地盤改良工事 ・基礎工事	検討・設計	機電設計														最新工程反映 10月→9月終了			
		現場作業	準備工事 掘削工事 地盤改良準備 地盤改良工事 基礎工事	最新工程反映															・2020年度下期：竣工予定 ・2017年4月11日：実施計画変更認可申請 ・2017年8月22日：実施計画変更認可申請(一部補正)	
除染装置(AREVA)スラッジ	(実績) ・線量分布確認における準備作業 ・エリアの線量分布確認 ・データ解析・評価 ・スラッジ対処方法及び除染方法検討 (予定) ・データ解析・評価 ・スラッジ対処方法及び除染方法検討	検討・設計	データ解析・評価														最新工程反映			
		現場作業	最新工程反映														スラッジ対処方法及び除染方法検討			

分野名	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	8月				9月				10月				11月		12月	備考	
				27	3	10	17	24	1	8	15	下	上	中	下	前	後			
保管管理計画	3. 瓦礫等の管理・発電所全体から新たに放出される放射性物質等による敷地境界線量低減	<p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一時保管エリアの保管量確認／線量率測定および集計 ガレキ等の将来的な保管方法の検討 線量低減対策検討 ガレキ・伐採木の保管管理に関する諸対策の継続 <p>(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一時保管エリアの保管量確認／線量率測定および集計 ガレキ等の将来的な保管方法の検討 線量低減対策検討 ガレキ・伐採木の保管管理に関する諸対策の継続 	検討・設計	一時保管エリアの保管量、線量率集計						一時保管エリアの保管量、線量率集計						一時保管エリアの保管量、線量率集計				
				ガレキ等の将来的な保管方法の検討																
				線量低減対策検討																
固体廃棄物の保管管理	4. 固体廃棄物の性状把握	<p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 【研究開発】固体廃棄物のサンプリング・分析 【研究開発】JAEAにて試料の分析（現場：JAEA東海等） <p>(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> 【研究開発】固体廃棄物のサンプリング・分析 【研究開発】JAEAにて試料の分析（現場：JAEA東海等） 分析試料のJAEAへの輸送 	検討・設計	【研究開発】固体廃棄物のサンプリング・分析																
				固体廃棄物のサンプリング																
			現場作業	【研究開発】JAEAにて試料の分析（現場：JAEA東海等）																
処理・処分計画	5. JAEA分析・研究施設の整備（施設管理棟、第1棟、第2棟）	<p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設管理棟建設工事 第1棟建屋現地工事 杭工事 基礎工事 <p>(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設管理棟建設工事 第1棟建屋現地工事 基礎工事 	検討・設計	施設管理棟建設工事																
				第1棟建屋現地工事																
			現場作業	基礎工事																

・多核種除去設備の運転状況に応じて順次試料を採取
これまでの分析結果は以下のウェブページにまとめられている
<http://fukushima.jaea.go.jp/initiatives/cat05/tech-info.html>

2017年3月7日:
JAEA分析研究施設第1棟
実施計画変更認可
(原規規発第1703071号)

・2017年度竣工予定（施設管理棟）
・杭工事完了（2017年8月7日）

瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2017.8.31 時点)

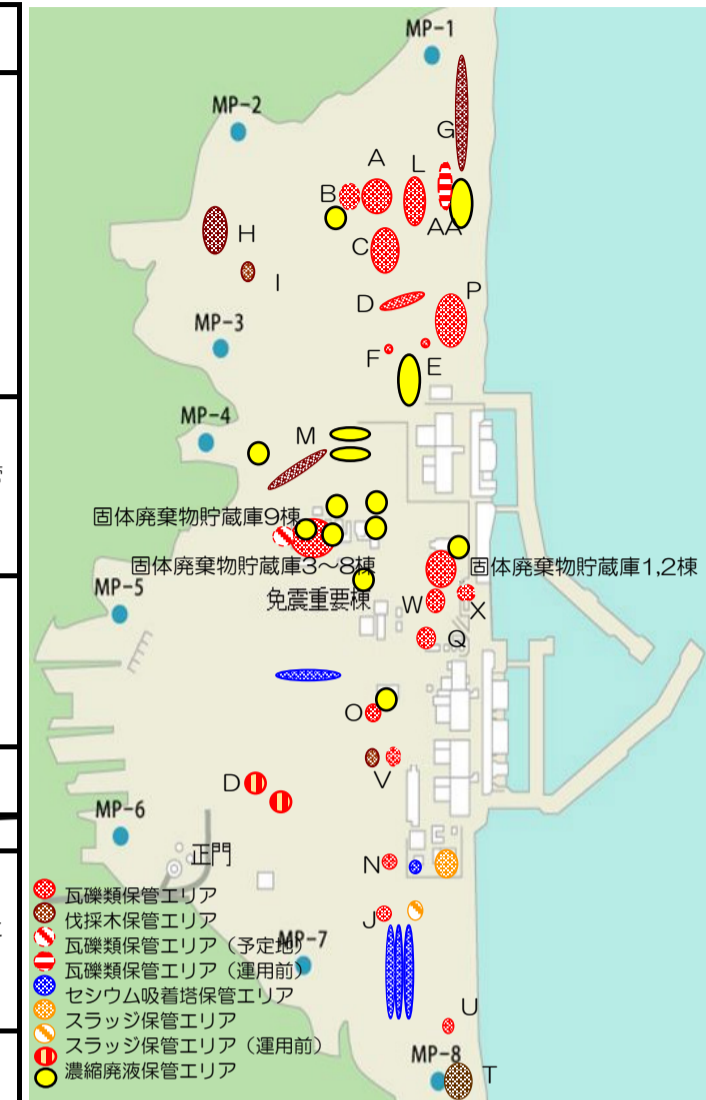
分類	保管場所	保管方法	エリア境界 空間線量率 (mSv/h)	保管量	前回報告比 (2017.8.31)	変動理由	エリア 占有率	保管量 ^{※3} /保管容量 (割合)	トピックス
屋外集積 (0.1mSv/h以下)	B	屋外集積	0.01	2,800 m ³	0 m ³	—	85%	156700 / 214300 (73%)	・フランジタンク解体片 エリアP1にて一時保管中。(2015年6月15日~) 2017年8月末時点で471基(コンテナ)保管。
	C	屋外集積	0.01未満	57,800 m ³	+800 m ³	①②③	91%		
	F2	屋外集積	0.01未満	6,400 m ³	0 m ³	—	85%		
	J	屋外集積	0.01	4,300 m ³	0 m ³	—	53%		
	N	屋外集積	0.01未満	4,500 m ³	0 m ³	—	45%		
	O	屋外集積	0.01未満	34,000 m ³	+1,200 m ³	①②③④	66%		
	P1	屋外集積	0.01	45,100 m ³	+1,100 m ³	①	70%		
シート養生 (0.1~1mSv/h)	U	屋外集積	0.01未満	0 m ³	0 m ³	—	0%	27000 / 71000 (38%)	・エリアWは、車両解体(プレス等)及びエリア内配置整理により保管 量減。
	V	屋外集積	0.01	2,000 m ³	+200 m ³	④	33%		
	D	シート養生	0.01未満	2,600 m ³	0 m ³	—	58%		
	E1	シート養生	0.03	12,900 m ³	微増	—	81%		
覆土式一時保管施設、 仮設保管設備、容器 (1~30mSv/h)	P2	シート養生	0.01	5,500 m ³	0 m ³	—	62%	21400 / 27700 (77%)	・主な瓦礫類は、1~3号機工事等で発生した瓦礫類。
	W	シート養生	0.05	3,700 m ³	-600 m ³	②	13%		
	X	シート養生	0.01	2,200 m ³	+100 m ³	③④	18%		
	L	覆土式一時保管施設	0.01未満	12,000 m ³	0 m ³	—	100%		
固体廃棄物貯蔵庫	A	仮設保管設備	0.25	2,700 m ³	微増	—	38%	21400 / 27700 (77%)	・主な瓦礫類は、1~3号機工事等で発生した瓦礫類。
	E2	容器 ^{※4}	0.02	300 m ³	0 m ³	—	19%		
	F1	容器	0.01未満	600 m ³	0 m ³	—	99%		
固体廃棄物貯蔵庫	固体廃棄物貯蔵庫	容器 ^{※4}	0.02	5,700 m ³	0 m ³	—	93%	8900 / 12000 (74%)	・主な瓦礫類は、1~3号機工事等で発生した瓦礫類。
合計(ガレキ)				214,000 m ³	+2,900 m ³	—	66%		
伐採木 (幹・根・枝・葉)	G	屋外集積	0.01未満	25,100 m ³	微増	—	63%	96300 / 144500 (67%)	・エリアGは、敷地造成工事関連で発生した伐採木(幹・根)の受入に より保管量増。
	I	屋外集積	—	0 m ³	0 m ³	—	0%		
	H	屋外集積	0.01未満	31,700 m ³	0 m ³	—	74%		
	M	屋外集積	0.01未満	39,500 m ³	微増	—	88%		
	V	屋外集積	0.01	0 m ³	微増	—	0%		
一時保管槽 (枝・葉)	G	伐採木一時保管槽	0.01未満	13,000 m ³	0 m ³	—	44%	24100 / 41600 (58%)	
	T	伐採木一時保管槽	0.01未満	11,100 m ³	0 m ³	—	94%		
合計(伐採木)				120,400 m ³	0 m ³	—	65%		
保護衣	屋外集積	容器	0.03	64,300 m ³	-2,100 m ³	⑥⑦	90%	64300 / 71200 (90%)	・使用済保護衣等焼却量 2156t(2017年8月末累積) ・焼却灰のドラム缶数 400本(2017年8月末累積)
	合計(使用済保護衣等)				64,300 m ³	-2,100 m ³	—	90%	
仮設	瓦礫類	U(仮設分)	屋外集積	0.01未満	700 m ³	0 m ³	—		・タンク設置スペース確保に伴い、エリアUより持込み。
	合計(仮設運用エリア)				700 m ³	0 m ³	—		

※1 100m³未満を端数処理しており、微増・微減とは100m³未満の増減を示す。
 ※2 主な変動理由：①タンク関連設置工事 ②車両解体工事 ③1~4号建屋周辺瓦礫撤去関連工事 ④焼却対象物の受入
 ⑤水処理二次廃棄物(小型フィルタ等)の保管 ⑥焼却運転 ⑦使用済保護衣等の受入

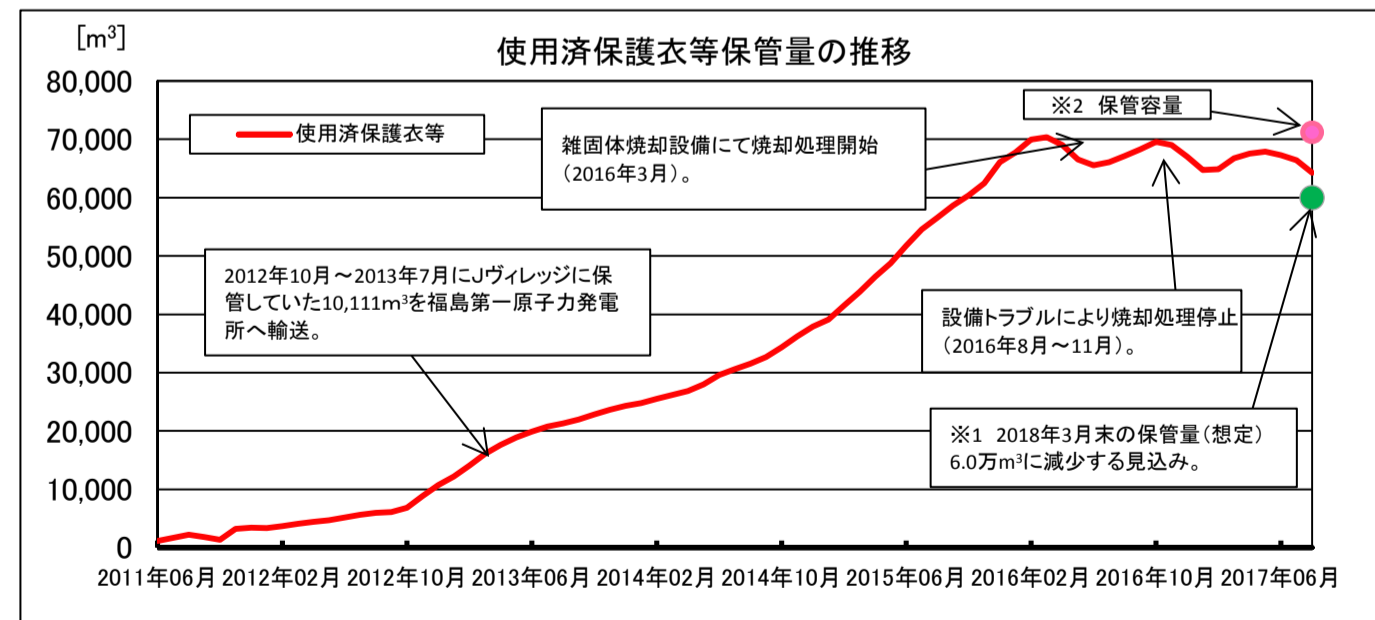
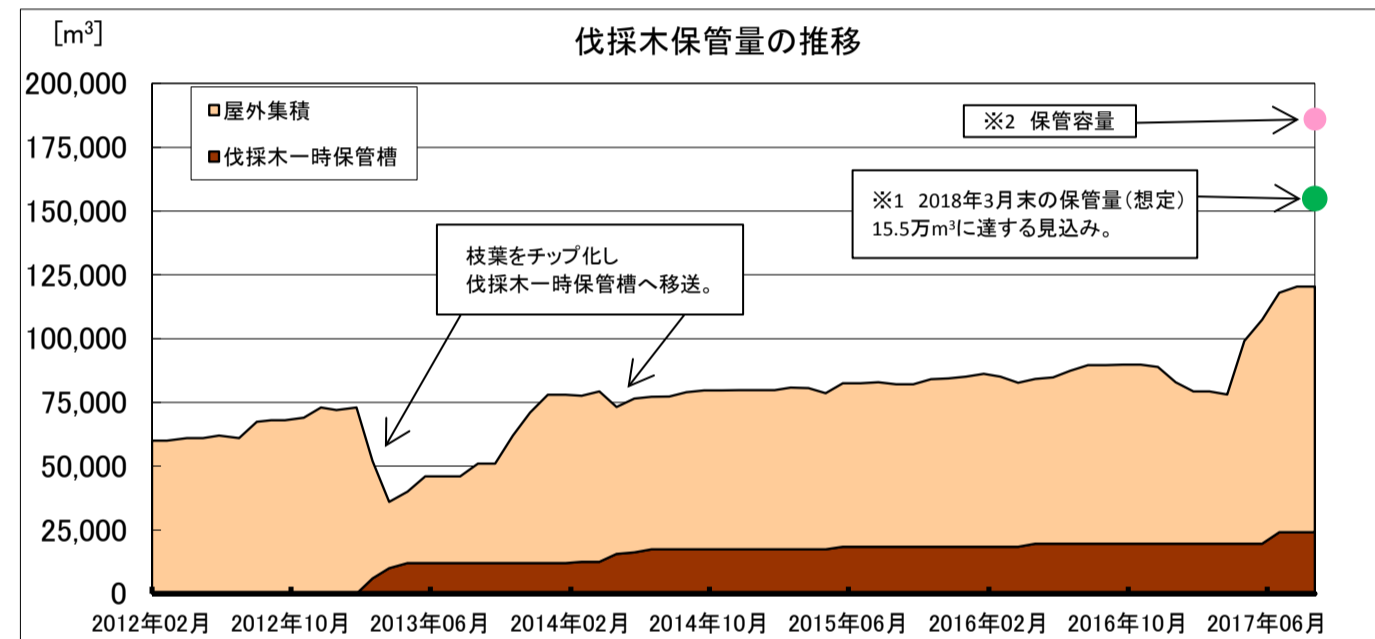
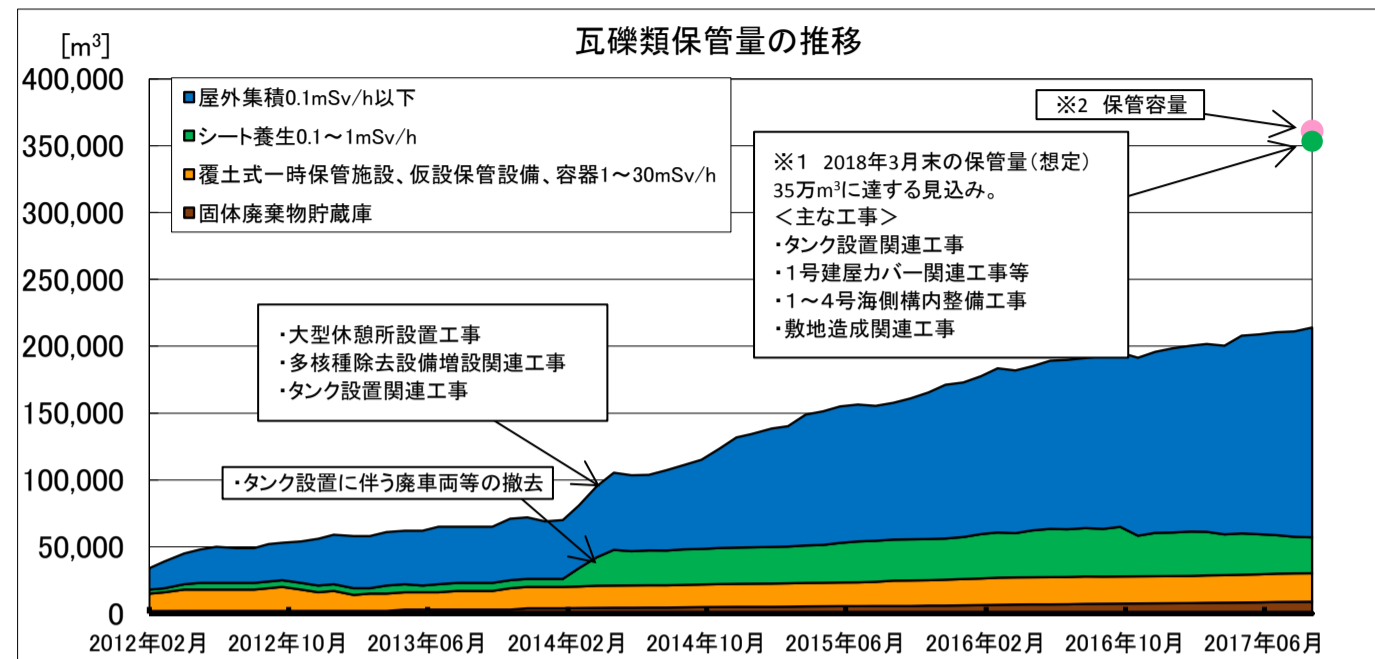
※3 端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。
 ※4 水処理二次廃棄物(小型フィルタ等)を含む。

水処理二次廃棄物の管理状況(2017.9.21時点)

分類	保管場所	種類	保管量	前回報告比 (2017.8.31)	保管量/保管容量 (割合)	トピックス	
水処理 二次 廃棄物	使用済吸着塔 保管施設	セシウム吸着装置使用済バケツ	758 本	0 本	3775 / 6368 (59%)	・吸着塔一時保管施設の増容量が認可(2015年12月14日) ・使用前検査完了(2017年5月26日)に伴う保管容量増(第四施設架台129塔分)	
		第二セシウム吸着装置使用済バケツ	190 本	0 本			
		多核種除去設備等保管容器	既設	1,435 基			+12 基
			増設	1,116 基			+14 基
		高性能多核種除去設備使用済バケツ	73 本	0 本			
		多核種除去設備処理カラム	9 塔	0 塔			
モバイル式処理装置等使用済バケツ及びフィルタ類	194 本	+1 本					
廃スラッジ 貯蔵施設	廃スラッジ		597 m ³	0 m ³	597 / 700 (85%)	・除染装置の運転計画は無く、新たに廃棄物が増える見込みは無い。 ・準備が整い次第、除染装置の廃止について実施計画の変更申請を行う。	
濃縮廃液タンク	濃縮廃液		9,387 m ³	-11 m ³	9387 / 10700 (88%)	・タンク水位の変動は、計器精度±1%の誤差範囲内。(現場パトロール異常なし) ・水位計0%以上の保管量: 9287 [m] タンク底部~水位計の保管量(DS): 約100[m]	



瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2017.8.31 時点)



※1 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管量(想定)は、実施計画(2017年3月1日認可)の予測値を示す。
 ※2 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管容量は、実施計画(2017年3月1日認可)の保管容量の運用上の上限を示す。

水処理二次廃棄物の管理状況(2017.9.21時点)

